September 2023

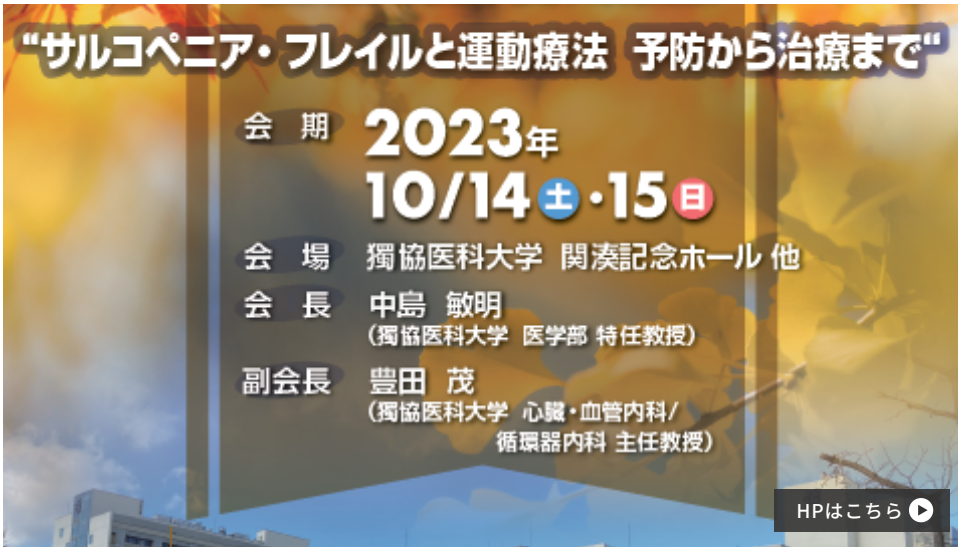
JAETP 特定非営利活動法人 日本臨床運動療法学会

News Letter Vol.6

Japanese Association of Exercise therapy and Prevention

第42回日本臨床運動療法学会学術集会

The 42nd Annual Meeting of The Japanese Association of Exercise Therapy and Prevention



都心からもアクセス抜群の栃木。世界遺産の日光東照宮や中禅寺湖では例年10月中旬より見頃を迎えた紅葉が美しく、鬼怒川温泉など、風情のある名所が点在しています。人気の観光スポットには自然の神秘と迫力を感じる採掘場跡「大谷資料館」などがあります。宇都宮は宇都宮餃子、ジャズ、カクテルは有名です。８月には次世代型路面電車LRTが開通します。会員の皆様、さらに、会員外でも医師、研究者、メディカルスタッフの方々、ぜひ10月開催の当学会にご参加ください。

（大会長 中島 敏明）

大会長講演　10月15日（日）9:00～9:30

心疾患のサルコペニア・フレイルと骨格筋：多様なリハビリ様式

獨協医科大学 ハートセンター
加圧トレーニング医学講座　特任教授
中島 敏明

特別講演　10月14日（土）13:30～14:10

サルコペニア・フレイルと運動療法

立命館大学
スポーツ健康科　教授
真田 樹義

※ 本誌掲載の 開催日程は仮です。正式にはプログラムホームページをご覧ください。

第42回学術集会シンポジウム

※ 教育講演はニュースレターVol.4をご覧ください。

いいね！

会長企画特別シンポジウム

運動療法に用いる多彩な運動様式

10月14日（土）14:50〜16:10

座長　獨協医科大学 中島敏明　同志社大学 石井好二郎

サルコペニア・フレイル対策としての運動様式（加圧トレーニング、ストレッチ、電気刺激法、インターバルトレーニング）について紹介していただきます。さらに、運動療法を広く普及させるための遠隔運動指導集団運動療法の現地/遠隔ハイブリッド指導の試みについて紹介していただきます。

加圧トレーニング

獨協医科大学
石坂勇人

ストレッチ

京都先端科学大学
新野弘美

EMS

獨協医科大学
田村由馬

高強度インターバル

法政大学
街勝憲

遠隔運動指導集団運動療法の現地/遠隔ハイブリッド指導の試み

関西医科大学
宮内拓史

ジョイントシンポジウム JAETP、日本メディカルフィットネス研究会

医療と運動施設の連携

10月15日（日）10:10〜11:30

座長　慶応義塾大学 勝川史憲　日本メディカルフィットネス研究会 太田玉紀

日本は超高齢社会を迎え、健康増進、健康寿命延伸を推進することはきわめて重要です。そのための医療と運動施設の連携について、さまざまな立場から紹介していただきます。

医療連携の考え方

早稲田大学
澤田亨

医師の立場から

慶応義塾大学
小熊祐子

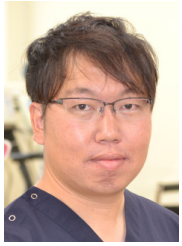
運動指導者の立場から

猫山宮尾病院
メディカルフィットネス
CUORE
石川光希

施設運営の立場から

医療法人社団
和風会
神谷具巳

在宅と医療連携



獨協医科大学
田村由馬

パネルディスカッション JAETP、国立スポーツ科学センター

スポーツと健康のさらなる融合

10月14日（土）10:10〜11:30

座長
駿河台大学 坂本静男
昭和大学 礒良崇

健康の維持や増進、さらには疾病の回復や予防において、運動／スポーツがもたらす影響や効果は非常に重要です。本セッションでは、特にトップアスリートを支える様々なメディカルサポートの実態や取り組みを共有し、一般市民の健康や医療への利活用の糸口を探ります。

トップアスリートのメディカルサポートから見えてくる一般社会への還元

国立スポーツ科学センター
中嶋耕平

スポーツ医学における国際オリンピック委員会(IOC)の取り組み

(公財)日本サッカー協会診療所
土肥美智子

女性アスリート外来の役割と重要性

国立スポーツ科学センター
能瀬さやか

スポーツ心理学の現状と今後の展開ー疾患を有するアスリートのサポート体制ー

法政大学
荒井弘和

医学教育モデル・コア・カリキュラム「スポーツ医学」の展望と課題

順天堂大学
高澤祐治

特別企画シンポジウム 健康運動指導士養成大学全国連絡協議会presents

10月15日（日）14:40〜16:00

座長
早稲田大学
健康運動指導士養成大学全国連絡協議会会長
宮地元彦

兵庫大学
朽木勤

臨床領域での運動療法は新しい領域も増えて健康運動指導士の需要はより高まっていますが、養成校での教育現場ではその現状が十分に伝わっていません。本学会を通して臨床現場での運動療法、運動指導士の現状と今後の展望につき紹介します。

いま学生に伝えたい臨床現場での運動の重要性

関西医科大学
木村穣

心臓リハビリテーション

関西医科大学
黒瀬聖司

腫瘍運動療法

法政大学
越智英輔

認知機能運動療法

筑波大学
大藏倫博

学生として何が必要か

帝京大学
佐藤真治

EIM Japan共催 EIMセッション

公衆衛生と運動療法の間（あわい）を誰が担うのか？社会的処方としての運動療法

10月14日（土）17:10～18:10

座長　関西医科大学 木村穣　東北大学 永富良一

公衆衛生は組織的な地域社会の努力を通じて疾病を予防し、寿命を延伸し、身体的および精神的健康と、能率（efficiency）の増進を図る科学であり、技術であるが、運動療法の普及は極めて重要です。そこで、公衆衛生と運動療法の間（あわい）を誰が担うのか？について、議論していただきます。

基調講演　医療側の考え方　運動普及の面から

京都大学
近藤直樹

順天堂大学
田村好史

帝京大学
佐藤真治

Your Prescription for Health
ExeRxcise is Medicine®

第42回JAETP学術集会

事前参加登録受付中です。

\締切間近/
9.15金

学術集会へ参加、学会へ入会は、HPから手続きをお願いいたします。

事前参加登録　学会入会

開催地交通案内

【開催期間及び開催場所】
2023年10月14日(土)・15日（日）獨協医科大学関湊記念ホール他

【所在地】〒321-0293 栃木県下都賀郡壬生町北小林 880
最寄り駅：東武宇都宮線「おもちゃのまち駅」から約１ｋｍ北西

【東京からのアクセス】

電車でお越しの場合

● 東武浅草駅 ―― 東武特急 ―― 栃木駅 ―― 東武宇都宮線 ―― おもちゃのまち駅 ―― 徒歩10～15分 ―― 会場
駅西口から獨協医大病院行きのバスで３分

北千住から栃木まで特急で約１時間、東武宇都宮線に乗り換えておもちゃのまち駅が早くて便利です。栃木からおもちゃのまちまで約２０分です。

● 東京駅 上野駅 ―― 東北新幹線 ―― 小山駅 ―― 在来線（宇都宮線） ―― 石橋駅 ―― 西口からタクシー ―― 会場

所要時間は合計で約１００分。小山駅に停車する新幹線は１時間に１～２本と少ないので注意。宇都宮駅停車の新幹線に乗って，宇都宮駅から在来線で２駅東京方面へ戻って石橋駅へ着く方法もあります。

【東北方面からのアクセス】

電車でお越しの場合

- JR宇都宮駅 西口 ―― バス約10分 ―― 東部宇都宮駅 ―― 東武宇都宮線約15分 ―― おもちゃのまち駅 ―― 会場
- JR宇都宮線「石橋駅」から獨協医科大学までバスにて30分
  1本/1－2時間程度、本数が少ないので注意

お車でお越しの場合

- 東北自動車道から栃木都賀JCT経由 北関東自動車道「壬生IC」から3分
- 東北自動車道「鹿沼IC」から20分

※駐車場について：平成23年6月1日より駐車場を適切に維持管理していくために、当院外来駐車場は有料となりました。

Information①

JAETP Web CC （ケースカンファレンス）

第８回は下記の通り開催されました。
参加は初回のみ右記Webから登録が必要です。参加費は無料です。学会員は、オンデマンド視聴も可能です。なお発表をご希望の方は事務局へご連絡ください。
次回は10月6日（金）18時半～を予定しています。

初回登録

第８回

医療法人偕行会メディカルフィットネス

偕行会ウェルネスセンター

取り組み及び症例紹介

9.1（金）18時半

山田 敏夫 先生
（健康運動指導士）

森 敏彦 先生
（健康運動指導士）

講演概要

【施設紹介】
①当施設の概要や施設内での取り組み内容について
②名古屋共立病院との連携による心肺運動負荷試験(CPX)や心臓リハビリテーションについて
③法人内透析施設における透析運動療法の内容と成果について

施設HP

【症例紹介】
成功例：透析運動療法の継続により心肺機能の改善がみられ、現在も活動的な生活を継続出来ている症例
難渋例：透析運動療法実施により心肺機能の改善がみられたが、その後のエピソードにより、現在の健康状態が低下している症例

演者紹介 JAETP ケースカンファレンスHPへ

Information②

委員会開催報告

下記のとおり委員会が開催されました。

（敬称略）

委員会名 開催日	委員長 （所属）	委員 （所属）
第3回 活性化委員会 2023.7.4	佐藤真治 （帝京大学 医療技術学部）	礒 良崇（昭和大学 藤が丘リハビリテーション病院） 今井 優（康生会クリニック 健康運動指導科） 小熊 祐子（慶應義塾大学 スポーツ医学センター・大学院 健康マネジメント研究科） 加藤 倫卓（常葉大学 健康科学部） 黒瀬 聖司（関西医科大学 健康科学センター） 澤田 亨（早稲田大学 スポーツ科学学術院） 安 隆則（獨協医科大学 日光医療センター）
第1回 編集委員会 2023.7.21	吉川 貴仁 （大阪市立大学大学院 医学研究科）	井澤 和大（神戸大学大学院 保健学研究科） 石井 好二郎（同志社大学 スポーツ健康科学部） 石黒 創（新潟大学 医学部） 勝木 達夫（やわたメディカルセンター） 加藤 倫卓（常葉大学 健康科学部） 朽木 勤（兵庫大学 健康科学部健康システム学科） 黒瀬 聖司（関西医科大学 健康科学センター）

Information③

日本臨床運動療法学会誌 投稿募集

投稿要領

投稿の条件：筆頭著者は会員であること。
投稿原稿は未出版かつ他紙に投稿中の原稿でないこと。

書　式：学会指定のテンプレートによる。

学会HPに投稿・執筆規程があります。
ご参照ください。

**原稿送付先
お問合せ**

日本臨床運動療法学会
事務局

〒573-1191
大阪府枚方市新町2-3-1
関西医科大学附属病院
健康科学センター内
TEL&FAX：072-804-2554

jaetpgakkaishi@gmail.com